
編集後記

この1年近くコロナ禍の中で学会，講演会がWEB開催になっており，最新の研究や新しい医療の情報収集もままならず，もどかしい今日この頃であります。

そのような中で，日本透析医会の例年行われています Current Topics 2020 が2020年10月にWEB開催（配信期間：10月15日～11月6日）されました。本号にその内容を掲載しています。透析医療のいろいろな現状としてVA治療，腎性貧血，腹膜透析，遠隔医療，災害の影響などに加え，今回は特に新型コロナウイルス感染症対策について解説いただきました。透析患者にもコロナ感染者が増加し，重症化し，亡くなる方がいることから大変参考になると考えます。医療安全の最近の問題として，東京都における透析排水管理に関する報告をしていただきました。臨床と研究として，心不全，悪性腫瘍，腸内細菌，ネフロン数とCKDなど臨床的に重要で大変興味がある論文を頂きました。

コロナ禍は第三波に見舞われましたが，コロナワクチン接種がいきわたらない限り，また変異株の出現も見られ，今後も第4波，第5波に見舞われることが予想されます。日頃の感染対策はもとより，ワクチン接種の徹底およびコロナ治療薬の確立が強く望まれます。

会誌編集委員 原田孝司